



## ますます広がるICTを活用した教育 誰一人取り残さない教育を目指して

市では、電子黒板やデジタル教科書の導入、他校との合同遠隔授業などICT（情報通信技術）を活用した教育に取り組んでいます。文部科学省の誰一人取り残さない教育を目指す構想（GIGAスクール構想）に基づいて令和2年度末までに、市内小中学校全ての児童生徒に一人一台のタブレット端末の配置を行いました。

タブレット端末にキーボードで文字を入力できるだけでなく、実際に画面に文字を書き込むことができることから、小学1年～中学3年生まで幅広く学習に活用できるようになりました。

また、先生のパソコンから一人ひとりのタブレット端末を確認することができ、それぞれの学習状況を把握しながら児童生徒にあった指導を行うことができます。さらには、タブレット端末に搭載されたアプリにより、一人ひとりが学習状況に応じた問題に繰り返し取り組むことができ、苦手分野の克服につなげる効果もあります。

現在、タブレット端末は教室内だけでの使用ですが、今後は校外で使用したり、災害時をはじめとする様々な状況に応じて家庭で使用したりするなど、様々な活用が期待されます。タブレット端末をはじめとするICT（情報通信技術）を活用して、より一層、子どもたちの個性にあった教育に取り組めます。